

★本資料は、各学校での誤答分析等に基づいた全校体制での組織的・継続的な手立ての確立や取組の推進に御活用ください

令和7年度

山口県学力定着状況確認問題 ～校内研修用資料～

本調査は、子どもたちの客観的な学力状況の把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善を行い、学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しています。

各学校においては、こちらの「校内研修用資料」を参考にしながら、本調査の結果の把握と分析を行い、今後の取組について考えていきましょう。

★課題改善に向けたプロセス（例）★

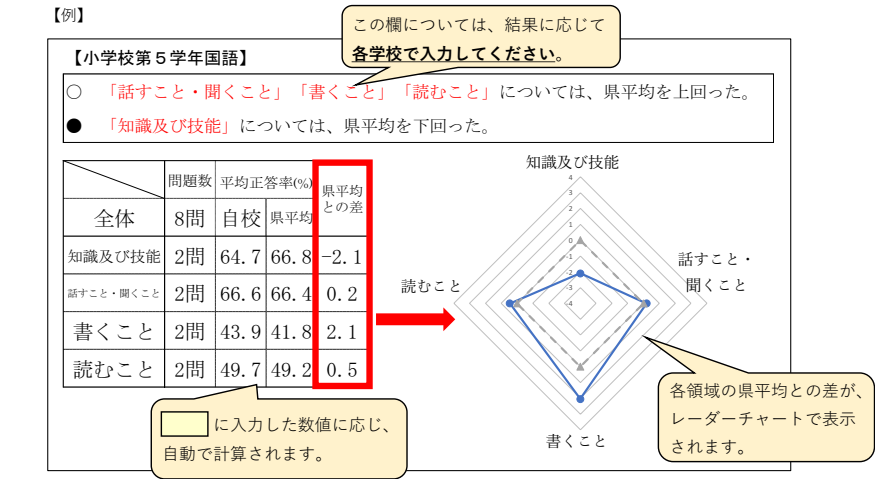
[結果分析]	各教科の設問別正答率や誤答を基に、全校体制で、結果分析に取り組みましたか
[情報共有]	結果分析から明らかになった、児童生徒の成果や課題を把握し、学校・家庭・地域で共有しましたか
[手立ての立案]	学校、学年等で、課題解決のための手立てを立案しましたか
[手立ての確立]	学校の児童生徒の課題を解決するための手立てを具体化しましたか ・全校体制での組織的・継続的な取組（補充学習や学び直し等）を行っていますか ・児童生徒一人ひとりの確かな学力の育成に向けて、授業改善に取り組んでいますか

令和7年11月

山口県教育庁義務教育課

令和7年度山口県学力定着状況確認問題 領域別平均正答率

このExcelファイルでは、領域別平均正答率のレーダーチャートを作成することができます。
本シート下部の に自校の数値を入力することで、「小5」「小6」「中1」「中2」の各シートに自動で反映され、次のように表示されます。



【自校の結果入力について】

以下の表の に自校の設問別正答率を入力すると、各学年のシートに反映されます。
設問別正答率は、「82.5」「61.2」など百分率で入力してください。
※県平均との差が4ポイント以上の場合は、レーダーチャート上には+4ポイントもしくは-4ポイントとして表示されます。

小学校

小 5	国語	設問番号	1 (1)	1 (2)	2 (1)	2 (2)	2 (3)	3 (1)	3 (2)	3 (3)
		領域・内容	読むこと	読むこと	話すこと・聞くこと	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	知識及び技能	書くこと
		設問別正答率								
	算数	設問番号	1	2	3 (1)	3 (2)	4 (1)	4 (2)	5 (1)	5 (2)
		領域・内容	測定・変化と関係	測定・変化と関係	図形	図形	数と計算	数と計算	データの活用	データの活用
設問別正答率										
小 6	国語	設問番号	1 (1)	1 (2)	2 (1)	2 (2)	2 (3)	3 (1)	3 (2)	3 (3)
		領域・内容	読むこと	読むこと	話すこと・聞くこと	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	知識及び技能	書くこと
		設問別正答率								
	算数	設問番号	1	2	3 (1)	3 (2)	3 (3)	4	5 (1)	5 (2)
		領域・内容	数と計算	図形	測定・変化と関係	測定・変化と関係	測定・変化と関係	データの活用	図形	図形
設問別正答率										

自校

領域・内容	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	合計
領域別設問数	2問	2問	2問	2問	8問
領域別正答率	-	-	-	-	-
領域・内容	数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用	合計
領域別設問数	2問	2問	2問	2問	8問
領域別正答率	-	-	-	-	-
領域・内容	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	合計
領域別設問数	2問	2問	2問	2問	8問
領域別正答率	-	-	-	-	-
領域・内容	数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用	合計
領域別設問数	1問	3問	3問	1問	8問
領域別正答率	-	-	-	-	-

中学校

中 1	国語	設問番号	1 (1)	1 (2)	1 (3)	2 (1)	2 (2)	3 (1)	3 (2)	3 (3)
		領域・内容	知識及び技能	読むこと	読むこと	知識及び技能	話すこと・書くこと	知識及び技能	読むこと	書くこと
		設問別正答率								
	数学	設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8
		領域・内容	数と式	数と式	図形	図形	データの活用	変化と関係	変化と関係	データの活用
設問別正答率										
中 2	国語	設問番号	1 (1)	1 (2)	1 (3)	2 (1)	2 (2)	3 (1)	3 (2)	3 (3)
		領域・内容	知識及び技能	読むこと	読むこと	知識及び技能	話すこと・書くこと	知識及び技能	読むこと	書くこと
		設問別正答率								
	数学	設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8
		領域・内容	数と式	数と式	数と式	関数	図形	図形	データの活用	データの活用
		設問別正答率								
	英語	設問番号	1	2	3	4	5	6 (1)	6 (2)	7
		領域・内容	聞く	聞く	聞く	読む	読む	書く	書く	書く
		設問別正答率								

自校

領域・内容	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	合計
領域別設問数	3問	1問	1問	3問	8問
領域別正答率	-	-	-	-	-
領域・内容	数と式	図形	変化と関係	データの活用	合計
領域別設問数	2問	2問	2問	2問	8問
領域別正答率	-	-	-	-	-
領域・内容	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	合計
領域別設問数	3問	1問	1問	3問	8問
領域別正答率	-	-	-	-	-
領域・内容	数と式	図形	関数	データの活用	合計
領域別設問数	3問	2問	1問	2問	8問
領域別正答率	-	-	-	-	-
領域・内容	聞く	読む	書く		合計
領域別設問数	3問	2問	3問		8問
領域別正答率	-	-	-		-

★各学校での分析に御活用ください

領域別平均正答率（自校と県平均との比較）

〔レーダーチャートについて〕

領域別平均正答率について、自校と県平均との差を示している。

(● ———— 自校 ▲ - - - - - 山口県)

〔表記について〕

(例) ○…県平均を上回った領域 ●…県平均を下回った領域

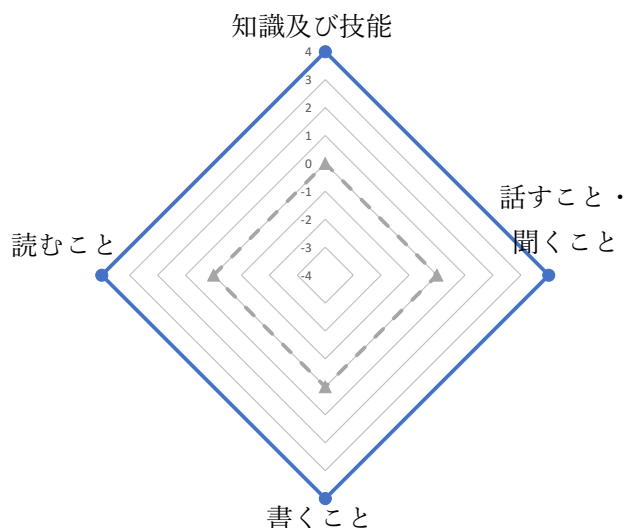
【小学校第5学年国語】

この欄については、結果に応じて
各学校で入力してください。

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
知識及び技能	2問	—	66.8	—
話すこと・聞くこと	2問	—	66.4	—
書くこと	2問	—	41.8	—
読むこと	2問	—	49.2	—

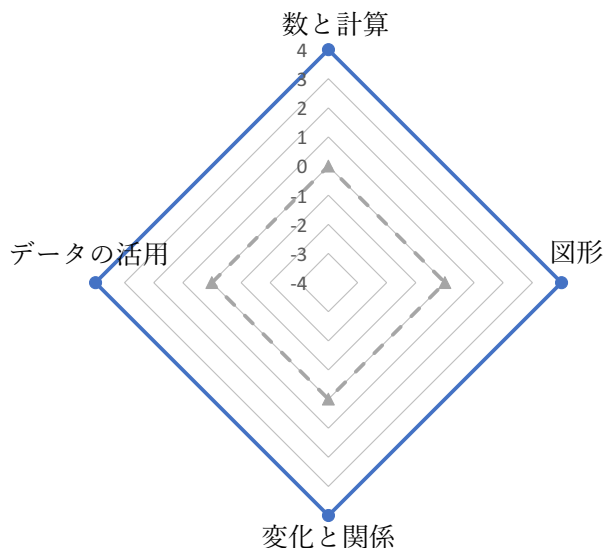


【小学校第5学年算数】

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
数と計算	2問	—	50.8	—
図形	2問	—	47.5	—
変化と関係	2問	—	26.1	—
データの活用	2問	—	16.0	—



★各学校での分析に御活用ください

領域別平均正答率（自校と県平均との比較）

〔レーダーチャートについて〕

領域別平均正答率について、自校と県平均との差を示している。

（ ●———●自校 ▲-----▲山口県 ）

〔表記について〕

（例） ○…県平均を上回った領域 ●…県平均を下回った領域

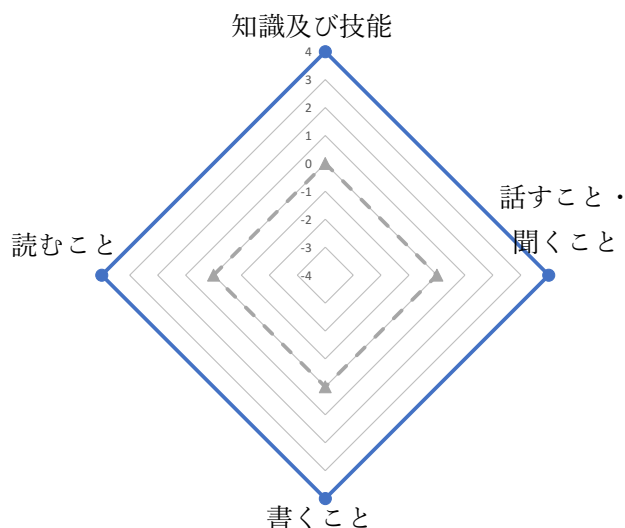
【小学校第6学年国語】

この欄については、結果に応じて
各学校で入力してください。

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
知識及び技能	2問	—	54.5	—
話すこと・聞くこと	2問	—	66.0	—
書くこと	2問	—	53.6	—
読むこと	2問	—	47.1	—

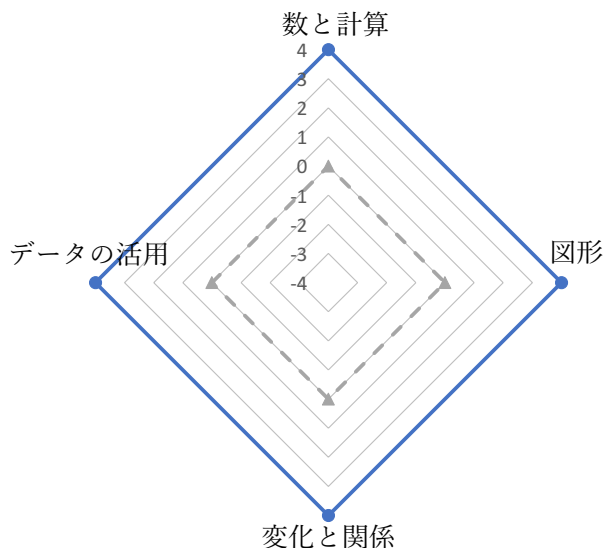


【小学校第6学年算数】

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
数と計算	1問	—	59.0	—
図形	3問	—	41.4	—
変化と関係	3問	—	53.0	—
データの活用	1問	—	60.5	—



★各学校での分析に御活用ください

領域別平均正答率（自校と県平均との比較）

〔レーダーチャートについて〕

領域別平均正答率について、自校と県平均との差を示している。

(● ———— 自校 ▲ - - - - - 山口県)

〔表記について〕

(例) ○…県平均を上回った領域 ●…県平均を下回った領域

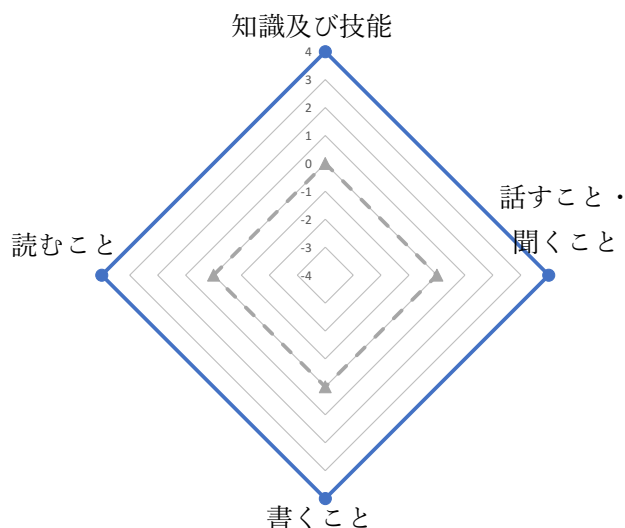
【中学校第1学年国語】

この欄については、結果に応じて
各学校で入力してください。

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
知識及び技能	3問	—	64.4	—
話すこと・聞くこと	1問	—	70.0	—
書くこと	1問	—	55.0	—
読むこと	3問	—	58.6	—

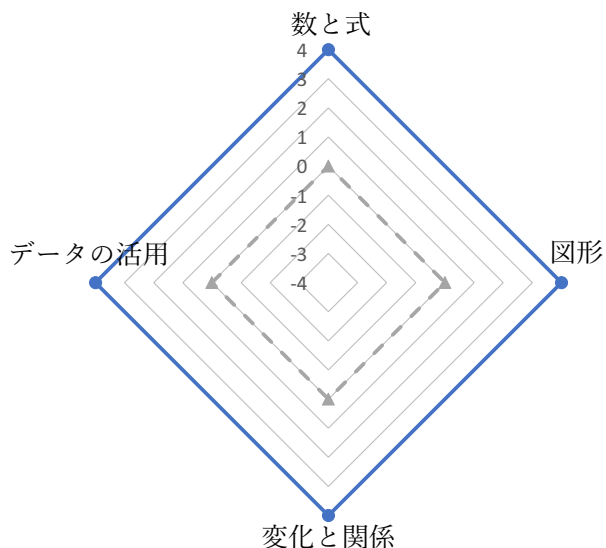


【中学校第1学年数学】

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
数と式	2問	—	43.6	—
図形	2問	—	59.6	—
変化と関係	2問	—	59.0	—
データの活用	2問	—	49.1	—



★各学校での分析に御活用ください

領域別平均正答率（自校と県平均との比較）

〔レーダーチャートについて〕

領域別平均正答率について、自校と県平均との差を示している。

(● ———— 自校 ▲ - - - - - 山口県)

〔表記について〕

(例) ○…県平均を上回った領域 ●…県平均を下回った領域

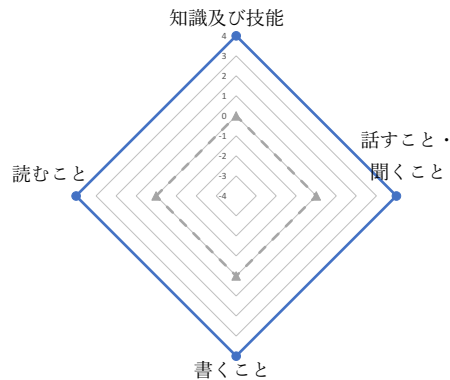
【中学校第2学年国語】

この欄については、結果に応じて
各学校で入力してください。

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
知識及び技能	3問	—	60.3	—
話すこと・聞くこと	1問	—	73.4	—
書くこと	1問	—	38.7	—
読むこと	3問	—	68.1	—

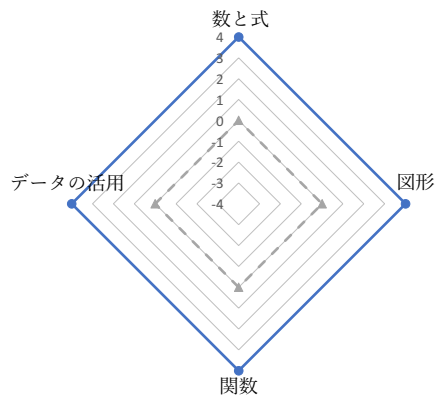


【中学校第2学年数学】

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
数と式	3問	—	35.8	—
図形	2問	—	54.0	—
関数	1問	—	21.1	—
データの活用	2問	—	42.6	—

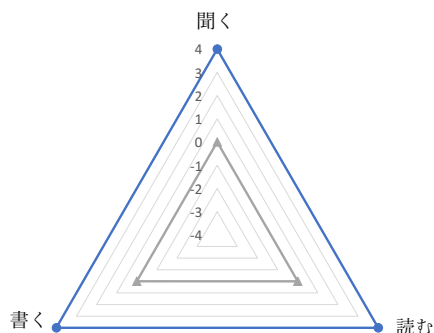


【中学校第2学年英語】

○ 「 」 「 」 については、県平均を上回った。

● 「 」 「 」 については、県平均を下回った。

	問題数	平均正答率(%)		県平均との差
		自校	県平均	
全体	8問			
聞く	3問	—	57.7	—
読む	2問	—	50.7	—
書く	3問	—	27.3	—



具体的な問題と解答状況

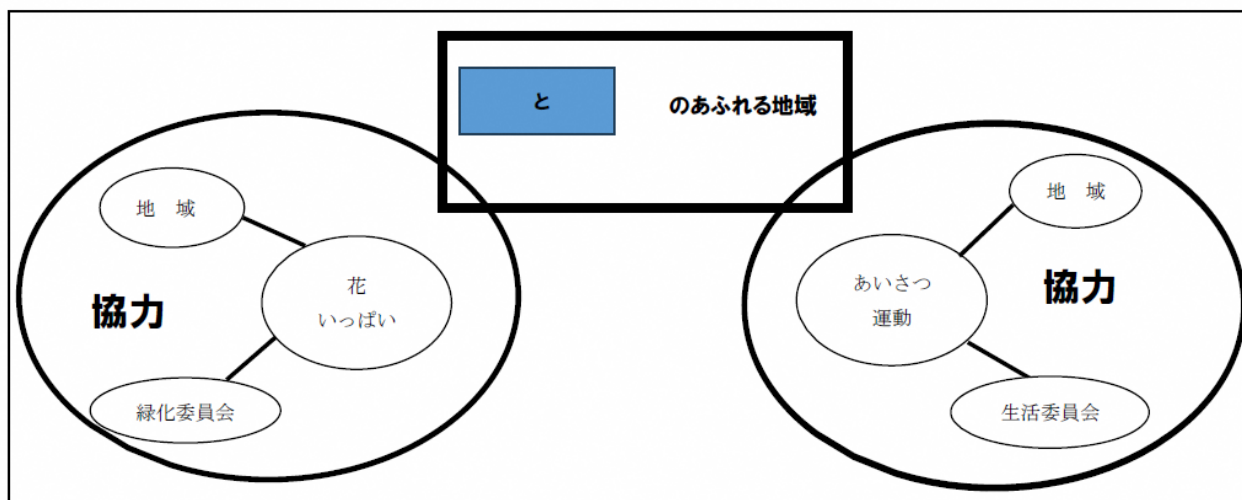
①小学校国語

○成果と考えられる点

「情報と情報の関連づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」について、成果が見られる。

小6 3 (2)

【グループのメモ】



(2) 【グループのメモ】の書き表し方を説明したものとして適切なものを、次の中から1つ選びましょう。

- ・ 話し合われた内容をできるだけくわしく書き、すべてを記録している。
- ・ 話し合われた内容を話し合いの時間の流れにそって書き、意見を整理している。
- ・ 出された意見を丸で囲み、線でつなぐことで、意見を整理している。
- ・ 出された意見を丸で囲み、線でつなぐことで、発言をすべて記録している。

	正答率
山口県	83.6%

【正答例】 3 (2)

出された意見を丸で囲み、線でつなぐことで、意見を整理している。

●課題が見られる点

「引用しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」について、課題が見られる。

小6 3 (3)

(3) 山口さんは、【報告書】の書き表し方について友達に相談し、【報告書】の_____部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の【調べたこと】を見直しました。あなたが山口さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【調べたこと】

<p>〈調べて分かったこと〉</p> <p>○打ち水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕に水をまく。 ・蒸発^{じょうはつ}するときに、地面の熱をうばう。 <p>○緑のカーテン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓^{まど}を植物でおおう。 ・日光をさえぎる。 	<p>〈実践^{じっせん}して分かったこと〉</p> <p>○打ち水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をまくだけだから、簡単^{かん}だった。 ・少し時間がたつと、すずしくなった。 <p>○緑のカーテン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンを作らなかった去年よりも、すずしくなった。 ・見た目もすずしくなった。
--	--

〈条件〉

- 【報告書】の_____部がくわしくなるように、書き直すこと。(一文でなくてもよい。)
- 【調べたこと】の〈調べて分かったこと〉と〈実践して分かったこと〉のそれぞれから言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

	正答率
山口県	38.9%

【正答例】 3 (3)

- ・ 打ち水という朝夕に水をまくことをすると、じょう発するときに地面の熱をうばい、温度が下がります。水をまくだけだから簡単でした。少し時間がたつと、すずしく感じました。(83字)
- ・ 緑のカーテンというまどを植物でおおうことをすると、日光をさえぎります。見た目もすずしくなりました。緑のカーテンを作らなかった去年よりも、すずしく感じました。(78字)

②小学校算数

○成果と考えられる点

「百分率で表された割合を使ってもとにする量を求めること」について、成果が見られる。

小6 3 (1)

- (1) 高学年では、応えん団を組んで応えん合戦を行います。白組応えん団の女子の人数は12人で、これは白組応えん団全体の40%の人数です。白組応えん団は全部で何人ですか。

	正答率
山口県	60.4%

【正答例】 3 (1)

30 (人)

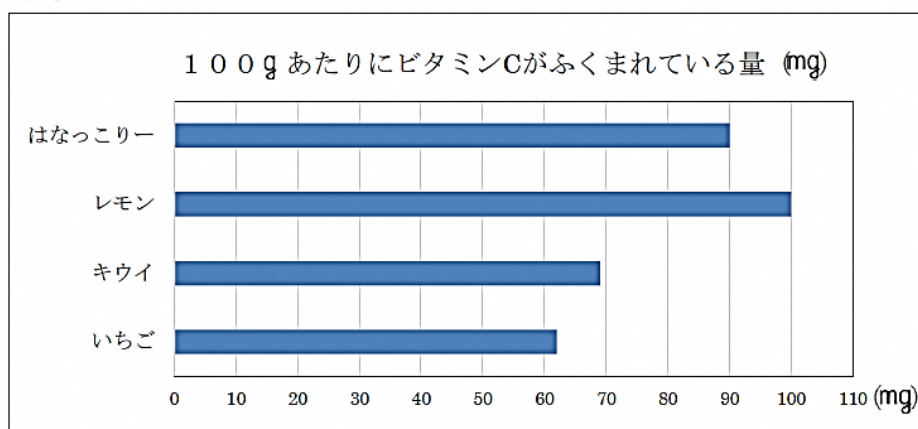
●課題が見られる点

「グラフから必要な情報を読み取り、その根拠について説明すること」について、課題が見られる。

小5 5 (2)

- (2) かずきさんは、はなっこりーにふくまれているビタミンCの量が、レモン、キウイ、いちごよりも多いかどうかを調べています。調べていると、下のグラフを見つけました。

グラフ



かずきさん

昨日の夕食で、はなっこりーのごまあえを食べたよ。そのときはなっこりーの量は130gだったみたい。レモン100gあたりにふくまれているビタミンCの量と比べると、どちらが多く^{くら}のビタミンCをとることができたのかな。

はなっこりー130gにふくまれているビタミンCの量が、レモン100gにふくまれているビタミンCの量より多いかどうかについて述べた下のア、イの文章のうち、正しいものを選んで、その記号を書きましょう。また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

ア レモン100gより、はなっこりー130gにふくまれているビタミンCの量の方が多い。

イ レモン100gより、はなっこりー130gにふくまれているビタミンCの量の方が少ない。

	正答率
山口県	9.9%

【正答例】 5 (2)

ア

理由(例)

はなっこりー130gは、はなっこりー100gの1.3倍なので、はなっこりー100gにふくまれているビタミンCの量も1.3倍だと考えられます。だから、はなっこりー130gにふくまれているビタミンCの量は、 $90 \times 1.3 = 117(\text{mg})$ です。よって、レモン100gあたりにふくまれているビタミンCの量100mgより多いです。

③中学校国語

○成果と考えられる点

「原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること」について、成果が見られる。

中2 2 (1)

2 塩田中学校では、「地域のためにできることは何か」という議題のもと、生徒総会を行いました。【資料1】は生徒総会に向けて生徒会役員が用意したものです。生徒総会の中で、地域へのボランティア活動に参加したいと声が上がりと、今度の「秋祭り」で中学生による、催しの企画を準備することになったため、地域の方へアンケートを実施しました（【資料2】）。次の場面は、【資料1】・【資料2】をもとに、生徒会役員3人と秋祭りの主催者である佐藤さんの4人で打ち合わせをしているところです。資料と会話を読んで、あとの（1）、（2）に答えなさい。

生徒A

【資料1】から、塩田中学校の生徒の秋祭りボランティアの参加に対して大きく期待がもてます。では、その秋祭りでどんな催しを準備するか決めていきたいと思います。何か意見はありませんか。

生徒B

私は焼き鳥の販売をして、来場者を盛り上げたいです。昨年も焼き鳥の出店は人気だったからです。

生徒C

でも、【資料2】を見ると、地域の方はステージ発表を楽しみにしていることが分かります。むしろ、飲食の販売は、あまり望んでいないようです。それならば、中学生ボランティアで何か発表をしたらどうでしょうか。

【資料1】

(中学生対象) 地域に関するアンケート

あなたは地域のために何かしたいと考えていますか

ぜひ何かしたい	45.2%
機会があればしたい	41.3%
考えていない	13.5%

【資料2】

(地域の方対象) 中学生へのぞむことについて

「あなたは、中学生に秋祭りでのぞむことをしてほしいですか」

ステージ発表	55%
レクリエーション	40%
パズル販売	25%
飲食販売	15%
その他	5%

生徒B

ステージ発表の場合、発表の内容の打ち合わせや、練習時間など、当日までの準備の時間が問題になってしまいます。せっかくボランティアに参加しようと思っても、もしかしたら集まりにくく感じてしまい、なかなか参加してくれないのではないのでしょうか。

生徒A

なるほど。焼き鳥とステージ発表の意見が出ましたが、それぞれに課題があるように思います。主催者の佐藤さんは、どのように考えられましたか。

佐藤さん

これまでの話し合いの中で、私たち地域の意見に関心をもって考えてくれていることをとてもうれしく思います。【資料2】では中学生の発表をのぞむ声が一番多いものですが、どうやら時間の面で難しいようですね。当日までの時間に関係なくできるもので、地域の人も喜ぶものは何かないでしょうか。

生徒B

それでは、 はどうでしょうか。当日の打ち合わせだけでルールは分かれますし、ボランティアをする生徒も一緒になって小さな子どもや高齢の方と楽しむことができると思います。

生徒C

いいですね。アンケートの結果も上位に入っている内容ですし、地域の方に喜んでもらえるはずです。

(1) 空欄に当てはまる言葉を【資料2】より書き抜きなさい。

	正答率
山口県	79.6%

【正答例】 2 (1)

レクリエーション

●課題が見られる点

「根拠を明確にしながら、説明や具体例を加えるなどして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」について、課題が見られる。

中2 3 (3)

(3) 秋吉さんが言っている「結論を先に述べる」ことについて、あなたはどのように考えますか。次の条件に従って答えなさい。

【条件】

- 「先に述べる」か「後に述べる」か、自分の立場を明確にして書くこと（どちらを選んでもかまいません）。
- 「結論を先に述べること」（「結論を後に述べること」）の効果について書くこと。
- 上記の効果があると判断した今までの経験を書くこと。
- 80字以上100字以内で書くこと。

	正答率
山口県	38.7%

【正答例】 3 (3)

- ・ 私は、結論を後に述べるほうが良いと思います。理由や根拠を順番に伝えることで、相手が納得しやすいという効果があるからです。実際に、作文を書いたときに、読み手から「説得力」があるとされたことがあります。(100字)
- ・ 私は、結論を先に述べるほうが良いと考えます。なぜなら、発表のときに先に結論を伝え、聞き手の反応がよくなった経験があるからです。結論がすぐにわかることで、話の内容が理解しやすくなる効果があると思います。(100字)

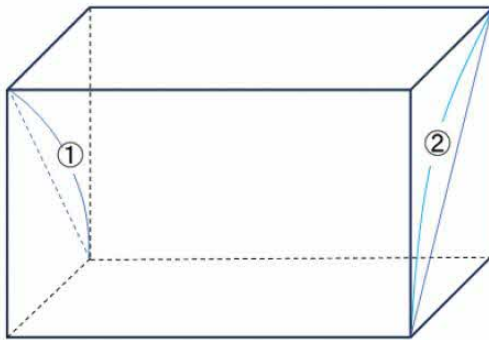
④中学校数学

○成果と考えられる点

「立体の見取図を理解していること」について、成果が見られる。

中 1 4

- 4 次の図の①、②は直方体の向かい合う面の対角線です。①と②の長さについて、下の4つの中から正しいものを1つ選びなさい。



- ・ ①の長さと②の長さは等しい。
- ・ ①の長さの方が長い。
- ・ ②の長さの方が長い。
- ・ 直方体の辺の長さはどれも分からないので、①の長さと②の長さはどちらが長いかは分からない。

	正答率
山口県	83.0%

【正答】 4

- ・ ①の長さと②の長さは等しい。

●課題が見られる点

「整数の性質を文字式を用いて表すこと」について、課題が見られる。

中2 3

3 あおいさんとゆうじさんは、10月のカレンダーに並んだ数の和について考えています。

図1

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

上の図1の□で囲んだ3つの数1、8、15の和を求めた際、その結果が24になりました。このことから、あおいさんは、「カレンダーの縦に並んだ3つの数の和は6の倍数になる」ことを予想しました。

$$1 + 8 + 15 = 24 \\ = 6 \times 4$$

それを聞いたゆうじさんは、図2のような並びを例として1つあげ、「カレンダーの縦に並んだ3つの数の和は必ずしも6の倍数になるとはいえない」を説明しました。

図2

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

$$6 + 13 + 20 = 39 \\ 39 \text{ は } 6 \text{ の倍数ではない。}$$

そこであおいさんは、自分の予想を次のように訂正しました。

「カレンダーの縦に並んだ3つの数の和は、いつでも3の倍数になる」

あおいさんとゆうじさんは、このことを調べるために、次のように説明の流れを考えました。この説明を完成させるために、次の①～④にあてはまる適切な語句や式の組み合わせを、それぞれ下の4つの中からすべて選びなさい。

説明の流れ

縦に並んだ3つの数の(①)を n として、
カレンダーの縦に並んだ3つの数を(②)と表す。



その3つの数の和を求める式をつくり、その式を変形すると(③)となる。



(④)は整数だから、(③)は3の倍数である。
したがって、カレンダーの縦に並んだ3つの数の和は、いつでも3の倍数になる。

- ・ ① 一番小さい数 ② $n, n+7, n+14$ ③ $3n$ ④ $n+7$
- ・ ① 真ん中の数 ② $n-7, n, n+7$ ③ $3n$ ④ n
- ・ ① 一番大きい数 ② $n-14, n-7, n$ ③ $3(n-7)$ ④ $n-7$
- ・ ① 全ての数 ② $n+7, n+14, n+21$ ③ $3(n+14)$ ④ $n+14$

	正答率
山口県	16.5%

【正答】 3 (完答)

- ・ ① 真ん中の数 ② $n-7, n, n+7$ ③ $3n$ ④ n
- ・ ① 一番大きい数 ② $n-14, n-7, n$ ③ $3(n-7)$ ④ $n-7$

⑤中学校英語

○成果と考えられる点

「日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること」について、成果が見られる。

中2 1

1 健太(けんた)さんが、留学生の Lisa (リサ)さんにボランティア活動(volunteer activity)に参加した時のことを話しています。2人の会話を聞いて、出来事の順番になるように絵を並べ替えなさい。ただし、会話の内容とは関係のない絵が1つあります。会話は1回だけ放送します。

<リスニング原稿>

Kenta: Hi, Lisa. How was your weekend?

Lisa: It was fun. I went fishing with my father. How about you?

Kenta: I joined a volunteer activity in my town.

Lisa: Volunteer activity?

Kenta: Yes.

Lisa: What did you do for your volunteer activity ?

Kenta: I cleaned the park and the beach. I got up at six in the morning and walked to the park near my school. I saw some teachers and many other students there.

Lisa: Many people joined the volunteer activity, right?

Kenta: That's right. First, we cleaned the park. Then we went to the beach near the park and cleaned it, too.

Lisa: You worked really hard.

Kenta: Yes. After that, we went to school and ate lunch. Then we took some pictures.

Lisa: Wow! I want to join next time, too.

ア



イ



ウ



エ



オ



	正答率
山口県	58.9%

【正答例】 1 ア→エ→オ→イ

※ ウは会話の内容とは関係のない絵

●課題が見られる点

「文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと」について、課題が見られる。

中2 6 (2)

6 次の(1), (2)の対話が成り立つように, ()内の語を必要に応じて形を変えて用い, 下線部の英文を完成させなさい。

(2)【場面: 春休み明け, 留学生のダニエル(Daniel)さんと健(Ken)さんが話をしています。】

Daniel : Hi, Ken! How was your spring vacation?

Ken : It was great! I went to Hokkaido with my family.

Daniel : Sounds fun! (eat) any good food?

Ken : Yes, I ate miso ramen. Look, here are some pictures.

Daniel : Wow, I want to try this one!

	正答率
山口県	17.1%

【正答例】 6 (2)

(Did you eat) any good food?

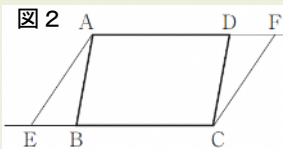
結果を踏まえた課題の改善に向けた取組の例

中学校数学科 設問9 (2) 正答率 (34.0% (山口県)、36.3% (全国))

特徴的な誤答

(エを選んだ上で)

○ ②、③より、 $AF - DF = EC - BE$ …④



➡ 書き直す部分は捉えているが、「 $AF = AD + DF$ 」、「 $EC = BC + BE$ 」と捉えることができていないと考えられる。

課題解決のための手立て

【授業改善の方策】

キーワード：「アウトプット」「対話」

- 「解決への見通しをもつこと」や「論理的に説明すること」ができるように、自分の考えをアウトプットし、他者との対話の中で、比較・分析等を行うプロセスを重視する。
- こうしたプロセスを重視した授業を実現するための「引き出したい振り返り」は、例えば、「条件を変えたときに、変わる部分や同じ部分に目を向けるとよいことがわかった。自分と友達の証明を比べながら話したときに、異なる部分について、お互い何を考えてそうしたのか気付くことができた。修正点を自分で理解できたのでうれしかった。次も条件に気を付けて証明できるようにしたい。」といったものが考えられる。ここからめあてや学習活動を計画するという「逆向き設計」の授業づくりを行っていく。

【課題解決に役立つやまぐちっ子学習プリント】 中学2年 図形の性質と証明

★各学校で、項目や様式をアレンジして御活用いただけます。

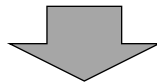
○ _____ 学校の結果を踏まえた課題の改善に向けた取組

(_____ 科 設問 _____) (正答率 _____ % (本校) 、 _____ % (山口県))

特徴的な誤答



→



課題解決のための手立て

【授業改善の方策】 キーワード : 「 _____ 」 「 _____ 」

○

【学校・家庭・地域の連携】 ※学校の実態に応じて視点を設定

【課題解決に役立つやまぐちっ子学習プリント】